





はじめに

## 1. 地域の元気応援事業について

地域の元気応援事業は、住民自治協議会やNPO等の市民活動団体による地域の特性を生かした魅力ある活動を応援し、その活動を更に発展させ、地域における元気を市内全域に波及させることを目的とした事業です。下記2部門で募集・審査を行い、優れた事業提案に対して活動資金を交付します。

## 2. 部門紹介（令和7年度地域の元気応援事業 募集要項の内容）

### （A）地域力アップ部門

対象団体	住民自治協議会
部門の概要	単独の住民自治協議会が行う事業、または複数の住民自治協議会が共同で行う事業を対象に、地域計画等に基づき、地域の個性を生かし、地域が一体となって課題の解決に取り組んでもらうことを目的とした部門。
支援額	上限 20 万円（活動交付金に加算）※地域づくりスポンサー賞で加算あり

※地域づくりスポンサー賞とは？

企業が地域社会の発展に寄与していただくことを趣旨として、住民自治協議会が行う活動を応援する賞です。（A）部門の事業提案の内、付加価値のある優れた事業提案に対して賞が授与されます。賞を受けると、20 万円を上限に支援額が加算され、更なる事業の発展に活用することができます。

### （B）市民活動サポート部門

対象団体	松阪市内の地域づくりに寄与するNPO等の市民活動団体（※）
部門の概要	NPO等の市民活動団体がおもつ多様なアイデアやスキルを生かした事業を実施することで、地域の活性化に役立ててもらうことを目的とした部門。
支援額	上限 10 万円

※応募対象となる団体は、公共の利益や社会貢献を目的として主体的・自主的な取り組みを行う、5人以上で活動する団体です。法人格の有無は問いません。ただし、未成年者だけで構成する団体は対象外です。

# 令和7年度採択事業紹介

(地域力アップ部門)

※発表順

ページ	事業の名称／協議会名	事業の概要	スポンサー賞
3	射和地区の歴史と文化の見える化事業	特色ある射和地区の歴史文化を可視化し、魅力を内外に発信していく。	
	射和地区住民自治協議会		
4	まつお桜祭り	阪内川河畔に植樹された満開の染井吉野桜を見ながら、子どもも大人も楽しい一日を！	
	松尾住民自治協議会		
5	避難所初期開設BOXの設置による住民への防災啓発	「災害に備える大切さ」は私たち共有の課題です。「地域防災力向上」に取り組めます。	マックスバリュ東海株式会社
	第二地区まちづくり協議会		
6	ヨリドコロ 地域で豊かな子育てを	地域で子育て力を高めていける支援・活動を行っています。ぜひご参加ください。	株式会社 三十三銀行
	徳和住民自治協議会		
7	防災事業を振り返り、 新たな視線で安全安心に着手する	全国的に自然災害による被害が多発、松ヶ崎も”よそ事”として無関心ではられない	松阪新電力株式会社
	松ヶ崎住民自治協議会		
8	ボクもワタシも笑顔でスタート！ 仲間づくり事業	小学校統合をきっかけに！ 松ヶ崎地区・米ノ庄地区の交流を深めましょう！	
	米ノ庄住民自治協議会		
9	茅広江「猿追い隊」	茅広江「猿追い隊」グループLINEで地域をつなぎ地域振興に取り組みたい。	
	茅広江住民自治協議会		
10	とうぶっ子、みんな友だち 明るい未来！	新しい環境で楽しく学校に通えるように、安心して生活できるように交流の場を作ります。	
	東部地区6協議会 (代表：西黒部まちづくり協議会)		

(市民活動サポート部門)

ページ	事業の名称／団体名	事業の概要	松阪市およびスポンサー
11	まちをあそぼう	地域の中で子どもと大人が共にあそび合い子どもも大人も自分では自分がいいと思える体験。	マックスバリュ東海株式会社
	特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター		
12	カヌーグレンデ香肌峡のお宝発掘とカヌーの振興普及	カヌースポーツの振興・普及を通じて素晴らしい景観を持つ櫛田川の魅力を発信します。	松阪市
	MCA松阪市カヌー協会		

<地域力アップ部門>

協議会名	射和地区住民自治協議会
事業名	射和地区の歴史と文化の見える化事業



<b>実施目的</b>			
<p>射和地区の歴史や文化は、松阪市内や三重県内においても特色のあるもので、特に近世においては数多くの豪商を輩出しており、日本の経済史・商業史においても注目すべきものであると思われます。しかしながら、地域においては地元の歴史や文化に対する認識が深いとは言えないのが現状です。このため地区内各町の歴史文化のトピックをパネルにし、住民の目に留まる所に掲示して地域の歴史に興味をもってもらうとともに、シビックプライドの醸成の手がかりにしようと考えました。</p>			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
<p>射和地区各町の歴史文化のトピックと射和小学校の児童が描いたイラストをパネルにし、射和地区で一番交通量の多い射和小学校前に掲示しました。ここは、通勤通学の車や自転車、コンビニの買い物客の目に止まりやすい場所です。また、みえ松阪マラソンのコースになっており、射和地区の歴史文化を全国に発信する最良のポイントです。マラソン当日は、多くのランナーや応援者の目に触れ、地域の魅力を知っていただくきっかけとなりました。</p>			
<b>【成果】</b>			
<p>射和地区住民はもとより、市内外から射和地区を訪れた人の目に留まり関心を持ってもらいました。また、射和小学校の児童の思い出作りにもなりました。そして、みえ松阪マラソンのランナーにも喜んでいただけたことが嬉しいです。</p>			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
<p>良かった点は、射和地区の歴史文化等を多くの人に知ってもらえたこと。          苦労した点は、紹介したい事柄が豊富なため、どれを選定するか迷ったこと。</p>			
<b>【これからの活動】</b>			
<p>SNS等を活用して、より多くの人に射和地区に関心を持ってもらえるよう工夫します。          また、紹介されていない事柄の表示について検討します。</p>			
<b>総事業費</b>	678,000 円	<b>連絡先</b>	射和地区住民自治協議会：0598-29-2002

<地域力アップ部門>

協議会名	松尾住民自治協議会
事業名	まつお桜祭り



<b>実施目的</b>			
桜の開花シーズンに併せて、子どもから高齢者に至る幅広い世代の方々が、地域のつながりや健康を増進し元気になることと、春の季節を楽しみながら広く世代間交流することで、地域の活性化につなげることを目的とします。			
<b>事業報告</b>			
【事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・松尾小学校運動場から多目的広場周辺にかけて、阪内川堤防を散策するウォーキングと抽選会</li> <li>・多目的広場での催事（中学校吹奏楽部の演奏、ミニSL試乗、消防車・パトカーとの記念撮影、子どもゲームコーナーの体験、団体・企業ブースの展示）とキッチンカー等による飲食提供。</li> </ul>			
【成果】			
地域のスタッフや団体・企業の皆様にご協力いただき、地区内外の子どもから高齢者の方まで、桜の木の下で楽しい1日を過ごしていただくことができました。			
<b>活動について</b>			
【実施して良かった点、苦労した点】			
松尾地区の方々に向けての案内を強化し、地区内の方にたくさん参加していただきました。たくさんの方が来場していただいたため、駐車場内の安全の確認等に不安がありました。また、トイレが遠くご不便をおかけしました。			
【これからの活動】			
皆さんに楽しんでいただくことができましたので、毎年桜が咲く時期に継続していきたいと考えています。			
総事業費	271,415円	連絡先	松尾住民自治協議会：0598-58-2648

<地域力アップ部門>

<b>協議会名</b>	第二地区まちづくり協議会
<b>事業名</b>	避難所初期開設 BOX の設置による住民への防災啓発



<b>実施目的</b>			
<p>私たちの地区は大地震発生の際、海岸部から多くの方々が避難してくることが想定される地域である。そこで本事業では、誰でも円滑に「避難所の開設」を行える「初期開設 BOX (マニュアル)」を自ら作成し、防災訓練を通じて継続的に改善していくことを目的とする。また、広報誌を地域住民へ全戸配布するとともに、防災講習会等を通じて住民の「防災意識」の啓発を図るものである。</p>			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
<p>(1)防災ワーキンググループの立ち上げ（防災の専門家、小中学校教員、市職員、防災 NPO 団体等と協働）                  (2)避難所 初期開設ボックス(マニュアル)の作成と設置。防災訓練を通じた検証と分析で改版を重ねる。                  (3)地域住民の防災啓発として、広報誌(防災特集号)の作成と配布、防災講習会の開催、防災訓練の実施。</p>			
<b>【成果】</b>			
<p>①防災ワーキングのコアメンバーが中心となり、「初期開設ボックス(マニュアル)」を作成、設置した。                  ②5月17日に防災訓練を近隣の神戸地区と合同実施。また10月26日に市の防災訓練も実施し検証した。                  ③地域住民を対象に広報紙「ふるさとの風だより（防災特集号各1800部）」を3回発行した。                  ④防災講習会を2月14日（「災害時のトイレ事情」）に開催した。</p>			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
<p>地域内外に関わらず避難者の誰もが「避難所開設」を行えるようにするために、防災専門家のアドバイスを受けながらマニュアルを作成したが、防災訓練では多くの課題が発生した。参加者のアンケート結果を広報紙や講習会を通じて地域住民と共有した。これにより防災意識の向上につながった。</p>			
<b>【これからの活動】</b>			
<p>①「避難所開設マニュアル」の継続的なバージョンアップ。防災訓練として「避難所宿泊体験」を行う。                  ②遊び心を取り入れ、地域住民が楽しく防災を学べる仕組みを構築する。                  ③防災活動の参加実績に応じた『色別の防災スキルカード』を付与し、地域の防災スキルを把握する。                  ④「避難所初期開設」に必要な備品を検討し、令和9年度を目途に整備完了を目指す。</p>			
<b>総事業費</b>	554,804円	<b>連絡先</b>	第二地区まちづくり協議会：0598-20-8402

<地域力アップ部門>

協議会名	徳和住民自治協議会
事業名	ヨリドコロ ～地域で豊かな子育てを～



<b>実施目的</b>			
子育て中の親子を対象に、安心して過ごせる居場所を提供し、助産師・保育士・地域の高齢者と連携し、地域全体で子育てを支える環境をつくる。			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
令和7年4月～令和8年3月まで、毎月第2水曜日に開催。延べ100組の親子が参加。助産師の進行のもと、参加者はテーマに沿って話をしたり、地域の方々の手作りの食事を皆で楽しんだりしました。食後には、絵本の読み聞かせなどをしました。また、スポンサー賞を頂き11月に特別企画として『絵の具であそぼう!』というイベントを実施し、親も子も夢中になって思いっきり遊びました。			
<b>【成果】</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職がいることで「気になること」を気軽に相談できる環境が整い、参加者の安心感につながった。</li> <li>・食事を囲むことで場の雰囲気が和らぎ、参加者同士が自然と話しやすい環境を作ることができた。</li> <li>・継続的な参加者も見られ、地域における居場所として一定の役割を果たすことができた。</li> </ul>			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
良かった点は、専門職の見守りのもと、親子が安心して過ごせる居場所が作れたこと。活動が少しずつ根付いてきており、顔なじみの方も増え自然と繋がりが広がっていったこと。一方で、必要としている方へ情報を届けることの難しさや、こどもの体調不良等による当日キャンセルで参加人数が安定しにくいと感じました。			
<b>【これからの活動】</b>			
準備や調整、人手や資金確保など見えない部分での苦労は多くありますが、これからもこの居場所を大切に、活動を続けていきたいと考えています。初めての方にも優しく、開かれた場所であること、そして来た人が「また来たい」と思えること。その積み重ねが地域の中で子育てを支える力になっていくと思っています。			
総事業費	454,599円	連絡先	徳和住民自治協議会：0598-20-1100

<地域力アップ部門>

協議会名	松ヶ崎住民自治協議会
事業名	防災事業を振り返り、新たな視線で安全安心に着手する



<b>実施目的</b>			
<p>令和6年度は、台風による大雨で、緊急避難所への避難経路全5本のうち4本が冠水するなど、災害対策への課題を再認識させられる1年であった。また、南海トラフ巨大地震発生の可能性も日に日に高まっている中で、松ヶ崎地区は津波の危険とも隣り合わせである。こうした中で発災時の被害を少しでも減らすため、様々な取り組みを通じて「安心・安全の創造」を目指す。</p>			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
<p>地震・台風等「複合災害」への対応力を強化するため、過去10数年に亘る防災・減災事業で培った経験や知識を基に、分かりやすい防災計画の策定に取り組んだ。また、新たに要配慮者支援を念頭に、防災リーダー研修会を開催し、防災計画書の内容充実に努めた。</p>			
<b>【成果】</b>			
<p>防災計画書は200冊（26ページ）作成し、各地区自治会役員に配布した。活用について自治会総会等での説明を依頼し、住民への周知を図ることを要請。マスコミ報道のおかげもあって広く周知され、他地域からも講演依頼が寄せられている。</p>			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
<p>住民協活動の重要事業である防災減災への取り組む指針を作り上げた事は、松ヶ崎の防災活動に大きな影響を与えるものと考えている。</p>			
<b>【これからの活動】</b>			
<p>令和8年度中にダイジェスト版を作成し、全戸に配布を行う予定である。</p>			
<b>総事業費</b>	466,005 円	<b>連絡先</b>	松ヶ崎住民自治協議会：0598-51-5036

<地域力アップ部門>

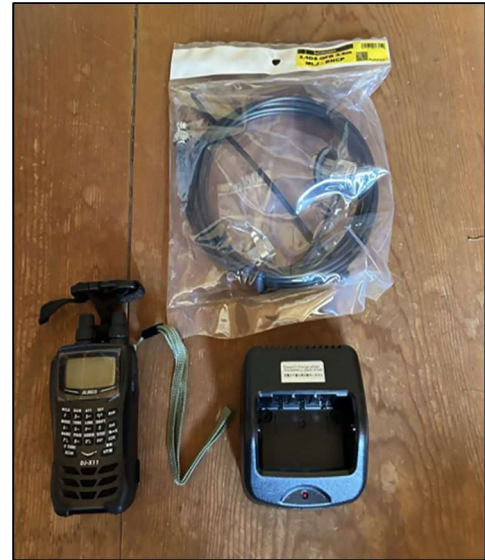
協議会名	米ノ庄住民自治協議会
事業名	ボクもワタシも笑顔でスタート！仲間づくり事業



<b>実施目的</b>			
<p>令和8年4月より松ヶ崎小学校と米ノ庄小学校は統合され、「よねのしょう小学校」となります。児童の交流だけにとどまらず、保護者同士、地域住民同士が交流し、知り合い、互いを思いやる心を育成し、今後の強固な地域の向上につなげていくことを目的とします。</p>			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
①文化親睦イベント「歴史探索歩こう会」			
松ヶ崎地区と米ノ庄地区をウォーキングしながら地域の歴史を学ぶ。			
②協働制作イベント「よみがえれ！下駄箱修繕会」			
よねのしょう小学校体育館横の下駄箱（木製）が30年以上経過しているため、両地域の住民による下駄箱の修繕を行う。			
<b>【成果】</b>			
①お互いの地域の特色を知り、興味を持ち、理解を深めることができた。			
②両地区住民の協働作業により親睦を深めることができた。また、児童も参加し、自分たちの手で修繕することにより物を大切にする心が育まれたと思う。			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
①②共に両地区からたくさんの参加があり、親睦を深めることができて良かった。			
②住自協・小学校・専門家など連携をはかる先が多く、日程調整など苦労した。			
<b>【これからの活動】</b>			
今回の取り組みを機に、お互いの地域をより身近に感じ、双方のイベントには気軽に、そして積極的に参加をしてもらいたいと思います。広がった校区を最大限活かし地域の活性化に繋がりたいと考えます。			
総事業費	461,053円	連絡先	米ノ庄住民自治協議会：0598-56-4780

<地域力アップ部門>

<b>協議会名</b>	茅広江住民自治協議会
<b>事業名</b>	茅広江「猿追い隊」



<b>実施目的</b>			
茅広江地区では、サルによる農作物被害が深刻化しており、多くの高齢者の生きがいとなっている野菜作りをいかに守るかが課題となっています。本事業では、地域全体でサルの出没状況や被害の実態を把握し、住民が協力して対策に取り組むことで、農作物被害の減少を目指します。			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
地域で、被害拡大防止のため、LINE グループを活用して猿の出没情報を共有する「猿追い隊」を結成し、猿の動向を監視しながら花火等で猿の追い払いを実施しています。			
令和7年10月3日に、先進地視察研修のため阿波地区市民センター（伊賀市）に行き、同地で活動している「猿追い隊」のセミナーに参加し阿波地区の活動の見学と現地状況を確認いたしました。			
<b>【成果】</b>			
花火等で、猿の追い払いを実施し野菜への被害が少なくなっています。			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
花火等で、猿の追い払いを実施し野菜への被害が少なくなって良かったです。			
苦労した点は、猿の動向が予測できない事です。			
<b>【これからの活動】</b>			
無線機を購入し、猿に取り付けることで猿の動きを把握する計画ですが、まだ猿への取り付けが出来ていません。今後も、引き続きLINE グループを活用した情報共有を行い、花火等での追い払いを実施いたします。			
<b>総事業費</b>	271,727 円	<b>連絡先</b>	茅広江住民自治協議会：0598-34-1001

<地域力アップ部門>

<b>協議会名</b>	東部地区 6 住民自治協議会 (あさみ住民自治協議会、掬水住民自治協議会、漕代まちづくり協議会、東黒部住民自治協議会、機殿住民自治協議会、西黒部まちづくり協議会)
<b>事業名</b>	とうぶっ子 みんな友だち明るい未来!



<b>実施目的</b>			
令和 8 年度に東部地区 6 小学校から 2 小学校に統合されるため、子どもたちが一日でも早く友だちをつくり新しい環境のもとスムーズに学校生活が送れる一助とする。また、大人同士も顔を知る機会となり、6 地区のまとまりに繋げ、子どもたちの見守りに役立てる。			
<b>事業報告</b>			
<b>【事業内容】</b>			
令和 7 年 11 月 29 日 (土) 松阪市総合運動公園芝生広場において「ふれあいフェスティバル」を開催。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区ブースで趣向を凝らし、米の販売、偉人の紙芝居、あられのつかみ取り、パン食い競争、グランドゴルフ、焼き芋販売等行った。</li> <li>・体験コーナー 防災グッズ作成 (春告鳥)、缶バッジ作成 (東部福祉まるごと相談室 &amp; 松阪市社会福祉協議会)</li> <li>・ミニ運動会 (綱引き、玉入れ)      ・ドッジボール (指導 &amp; 競技)      ・お菓子まき</li> </ul>			
<b>【成果】</b>			
当日は好天気に恵まれ、延べ 800 人ほどの方々に参加してもらい、各地区ブースでの取り組みは大盛況で地域と地域の交流が行われた。また、小学校の先生方からは 6 つを 1 つにまとめてもらってよかったという言葉をいただき、スタッフからもやってよかったという感想が届いた。			
<b>活動について</b>			
<b>【実施して良かった点、苦労した点】</b>			
子どもたちについては学校間交流で友だちづくりなど行っているが、体験コーナーではさらに和気あいあいと笑顔あふれる姿をたくさん見ることができた。			
また、東部地区の 6 協議会が役割分担しながら一体となって事業を実施することができて、住民自治協議会同士の交流となった。			
<b>【これからの活動】</b>			
住民自治協議会が情報交換、情報共有しながら、東部南小学校、東部北小学校それぞれの学校運営を支援していきたい。また、子どもたちの見守りを行っていきたい。			
<b>総事業費</b>	230,000 円	<b>連絡先</b>	西黒部まちづくり協議会：0598-52-0020

<市民活動サポート部門>

団体名	特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター
事業名	まちをあそぼう（子どもの権利を学ぼう！）



<b>実施目的</b>			
地域のつながりが希薄になり、子どもも大人もありのままの自分でいいと思えていない現状がある。その中で、「仲間となって遊び、互いの違いに気づき認め合える活動」を行うにあたり、活動をサポートする大人のための講演会とワークショップを開催する。			
<b>事業報告</b>			
【事業内容】			
〈子どもの権利を学ぼう！〉			
北島尚志さん講演会「あそびは子どもの主食です！子どもの時間を奪わぬために！」			
ワークショップ「遊びの中に権利あり！ちがうって面倒だけどおもしろい！」			
あそびの大切さと、自分のままでよいという感覚を知ることができる内容。			
【成果】			
子どもの権利を保障するために、権利について正しく学び理解することが不可欠です。今回は座学だけでなく、ワークを交えた講義とワークショップにより、「子どもの権利」が身近で生活に密着しているものであることを楽しみながら感じることができました。「難しく考えすぎず、日頃の関わりの中で今日の学びを活かし、周囲の大人にも伝えていきたい」という感想もありました。			
<b>活動について</b>			
【実施して良かった点、苦労した点】			
県議会・市議会議員や、日頃子どもに関わる方々など幅広く参加していただき、「子どもの権利」を身近に感じることができました。より多くの方に参加していただける日程をと考え、周知することに難しさを感じました。			
【これからの活動】			
今回の参加者を中心に、さらに幅広く声をかけ、子どもの権利を学ぶ場を提供し、スタッフの定着をはかっていきます。また、他団体と協働したイベント等を通して、まちの中で大人と子どもが関わり合う場をつくっていきたくて考えています。			
総事業費	173,100 円	連絡先	0598-20-8344

<市民活動サポート部門>

団体名	MC A松阪市カヌー協会
事業名	カヌーゲレンデ香肌峡のお宝発掘とカヌーの振興普及



<b>実施目的</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 素晴らしい景観を持つ櫛田川の魅力の発信</li> <li>② 子供たちの水遊びの復権</li> <li>③ カヌースポーツの振興・普及</li> <li>④ 飯高の魅力の発信と地域の振興</li> </ul>			
<b>事業報告</b>			
【事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 河川敷や渓谷を安全に散策出来る遊歩道を整備</li> <li>② 水辺の安全教室を通して「ライフジャケットの正しい着用」を周知</li> <li>③ 市民・流水プールで通年カヌー教室を実施</li> <li>④ 「魚が泳ぐ清流櫛田川クリーン作戦」と題してゴミ回収活動を実施</li> </ul>			
【成果】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 飯高道の駅のロックガーデンに多くの方が訪れるようになってきました。</li> <li>② ライフジャケットの関心が高まり正しく着用する人達が多くなってきました。</li> <li>③ 市民・流水プールでの通年カヌー教室で全国大会参加選手を育成出来ました。</li> <li>④ 櫛田川の大きなゴミが目に見えて減ってきました。</li> </ul>			
<b>活動について</b>			
【実施して良かった点、苦労した点】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 素晴らしい景観美を誇る香肌峡を散策する人たちが通年にわたり増えてきました。</li> <li>② 櫛田川の魅力が伝わり、香肌峡カヌー大会では新たにサップで参加する方からの応募がありました。</li> <li>③ 通年のカヌー練習で、全国ジュニアスラローム大会参加選手を育成出来ました。</li> <li>④ 櫛田川の大きなゴミが目に見えて減ってきました。</li> </ul>			
【これからの活動】			
<ul style="list-style-type: none"> <li>① スズメバチ対策は、根気強く継続して実施していきます。</li> <li>② 真夏の時期は大会を夜間に行うようにします。</li> </ul>			
総事業費	127,674 円	連絡先	桐井：090-9944-6651

# 令和7年度 松阪市地域の元気応援事業協賛企業（順不同・敬称略）

## ➤ マックスバリュ東海 株式会社



第二地区まちづくり協議会（p.5）



松阪子ども NPO センター（p.11）

## ➤ 松阪新電力 株式会社



松ヶ崎住民自治協議会（p.7）

## ➤ 株式会社 三十三銀行



徳和住民自治協議会（p.6）



企業の皆さま、ご協賛・ご審査  
ありがとうございました！



# 巻末写真集

## <地域力アップ部門>

協議会名	松尾住民自治協議会
------	-----------



桜の下での中学校吹奏楽部の演奏



ちゃちゃも・福っきーと高齢者のふれあい

協議会名	徳和住民自治協議会
------	-----------



スポンサー賞をいただき『絵具で遊ぼう!』イベントを実施。親子で夢中になって遊びました。



子どもたちの好きなように、自由に絵の具を使っておもいっきり遊びました～。

## <市民活動サポート部門>

団体名	特定非営利活動法人松阪子ども NPO センター
-----	-------------------------



「子どもの権利」や「遊び」について学びました



大人が「子どもの権利」を真面目に遊び深く学ぶ時間でした

団体名	MCA 松阪市カヌー協会
-----	--------------



香肌峡遊歩道を宮前小学校の児童たちがウオーキングしてくれました。



真冬でも、工夫したらカヌーを楽しむことができます。

# 地域の元気応援事業 年度別採択一覧

《地域力アップ部門》

住民自治協議会名	29年度		30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	地域力	広域								
松阪中央住民協議会			▲							
幸まちづくり協議会			▲							
第二地区まちづくり協議会										○
第四地区住民協議会	○	◆				◎				
神戸まちづくり協議会	○		○		○					
徳和住民自治協議会			○		○		○			○
東住民自治協議会							○			
あさみ住民自治協議会	○	◇	○							□
掬水住民自治協議会	○	◇					○			□
漕代まちづくり協議会		◇	○	○						□
伊勢寺地区住民自治協議会			○							
あざか住民自治協議会	○		○	○	○	○	○	○	○	
宇気郷住民協議会						○	○			
西黒部まちづくり協議会		◇◆			○					□
東黒部住民自治協議会		◇◆								□
機殿住民自治協議会	○	◇	○	○	○					□
大石地区住民自治協議会	○			○	○					
茅広江住民自治協議会							○			○
射和地区住民自治協議会	○			○						○
鈴の森住民自治協議会			○							
港住民自治協議会		◆				◎				
松ヶ崎住民自治協議会	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○
花岡住民自治協議会										
松尾住民自治協議会	○		○	○	○	○		○	○	○
大河内地区住民自治協議会			○							
嬉野宇気郷住民協議会										
中郷まちづくり協議会										
豊地まちづくり協議会	○		○	○	○	○				
嬉野中川まちづくり協議会										
豊田住民自治協議会	○			○	○					
中原まちづくり協議会	○		○		○					
米ノ庄住民自治協議会										○
天白まちづくり協議会		◆								
鵜住民自治協議会		◆								
おのえ住民自治協議会										
有間野区住民自治協議会	○									
粥見住民自治協議会	○									
仁柿住民自治協議会										
柿野住民自治協議会									○	
宮前まちづくり協議会	○		○	○	○	■	○	○		
川俣住民自治協議会						■				
森住民自治協議会						■				
波瀬むらづくり協議会	○		○	○	○	■				
採択事業数	17	2	16	11	13	7	8	4	4	8

《市民活動サポート部門》

市民活動団体名	29年度	30年度	令和 元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和 6年度	令和 7年度
				活性	連携	活性	連携	活性	連携	活性	連携		
まつさか子育てママチーム		○	○										
瑞巖寺庭園保存会													
松阪ハーモニックジュニアバンド	○		○										
神ノ木台健康イキイキ仲良しクラブ													
このゆびとまれ	○												
阪内町まちづくり委員会	○												
音楽のアトリエMUSICANO（ムジカーノ）		○			○					○			
特定非営利活動法人 i sierra			○						○				
Tulay（トゥライ）				○									
松阪ギター音楽協会				○		○				○			
市場庄おやじ会				○									
まつさかプレーパークをつくる会				○									
生ごみリサイクル亀さんの家				○									
MCA松阪市カヌー協会					○		○	○		○		○	○
伊勢寺郷土史研究会							○						
子育て応援まるまるサークル								○					
おんいく松阪 実行委員会								○					
映像CUBE								○					
香肌小学校親子山村留学実行委員会										○		○	
松阪偉人顕彰団体協議会												○	
松阪子どもNPOセンター													○
採択事業数	3	2	3	5	2	1	2	4	1	4	0	3	2

広域 …… 広域連携部門。複数の住民協議会が共同で取り組み地域間の広域連携を推進し連携の輪を広げる事業（30年度から地域力アップ部門と統合）

地域力 … 地域力アップ部門。地域の課題解決に向け地域の個性を生かし地域全体が一体となって取り組む事業（30年度から広域連携部門と統合し、複数の住民自治協議会で取り組む事業も対象）

活性 …… 地域活性コース（市民活動サポート部門）。NPO等の市民活動団体が行う地域活性化のための事業のコース（令和6年度から地域連携コースと統合し、市民活動サポート部門として一本化）

連携 …… 地域連携コース（市民活動サポート部門）。NPO等の市民活動団体が、住民自治協議会と連携したり住民自治協議会を支援したりして行う地域活性化のための事業のコース。（令和6年度から地域活性コースと統合し、市民活動サポート部門として一本化）

○以外の記号 … 複数の住民自治協議会が連携して取り組んだ事業

◇東部管内防災ネットワーク ◆松阪市臨海地域防災ネットワーク ▲歩いて楽しい道づくり

◎地域防災力向上への取り組み ■冊子「カハダヲタベル」発行事業 □とうぶっ子、みんな友だち明るい未来！

<お問い合わせ先>

松阪市 企画振興部 地域づくり連携課

〒515-8515 三重県松阪市殿町 1340 番地 1

TEL 0598-53-4324 FAX 0598-26-9113

E-mail [commu.div@city.matsusaka.mie.jp](mailto:commu.div@city.matsusaka.mie.jp)